マレーシアがん研究財団との共同研究契約締結のお知らせ

このたび、株式会社ニムラ・ジェネティック・ソリューションズ（以下、NGS）は、100%子会社である Nimura Genetic Solutions (M) Sdn.Bhd.（マレーシア現地法人）を通じ、CANCER RESEARCH INITIATIVES FOUNDATION（マレーシアがん研究財団　以下、CARIF）との間で、「光線力学的療法に利用できる光増感剤の土壌微生物からの探索」の目的で、光増感剤探索の共同研究に関して、今般合意に達しましたのでお知らせ致します。

CARIF は、2002 年に設立されたマレーシア唯一のがん治療研究組織で、民間企業からの寄付と政府からの助成金により運営されている NPO です。研究ターゲットは、口腔癌および鼻咽頭癌という発展途上国で罹患率の高い 2 種類の癌で、治療法として近年注目を集めている光線力学療法に利用できる光増感剤を天然物から探索しており、健常細胞に対するダメージがなく副作用の少ない治療法として注目を集めています。

今回の提携により NGS は、CARIF の持つ光増感剤探索アッセイを利用できることになり、微生物の二次代謝産物から光増感物質というこれまでのターゲットになかった新規化合物発見の可能性をさらに広げられることになりました。

平成 19 年 3 月 5 日

株式会社ニムラ・ジェネティック・ソリューションズ

代表取締役社長 清田圭一

※※※